

DE6
5



0024126-000

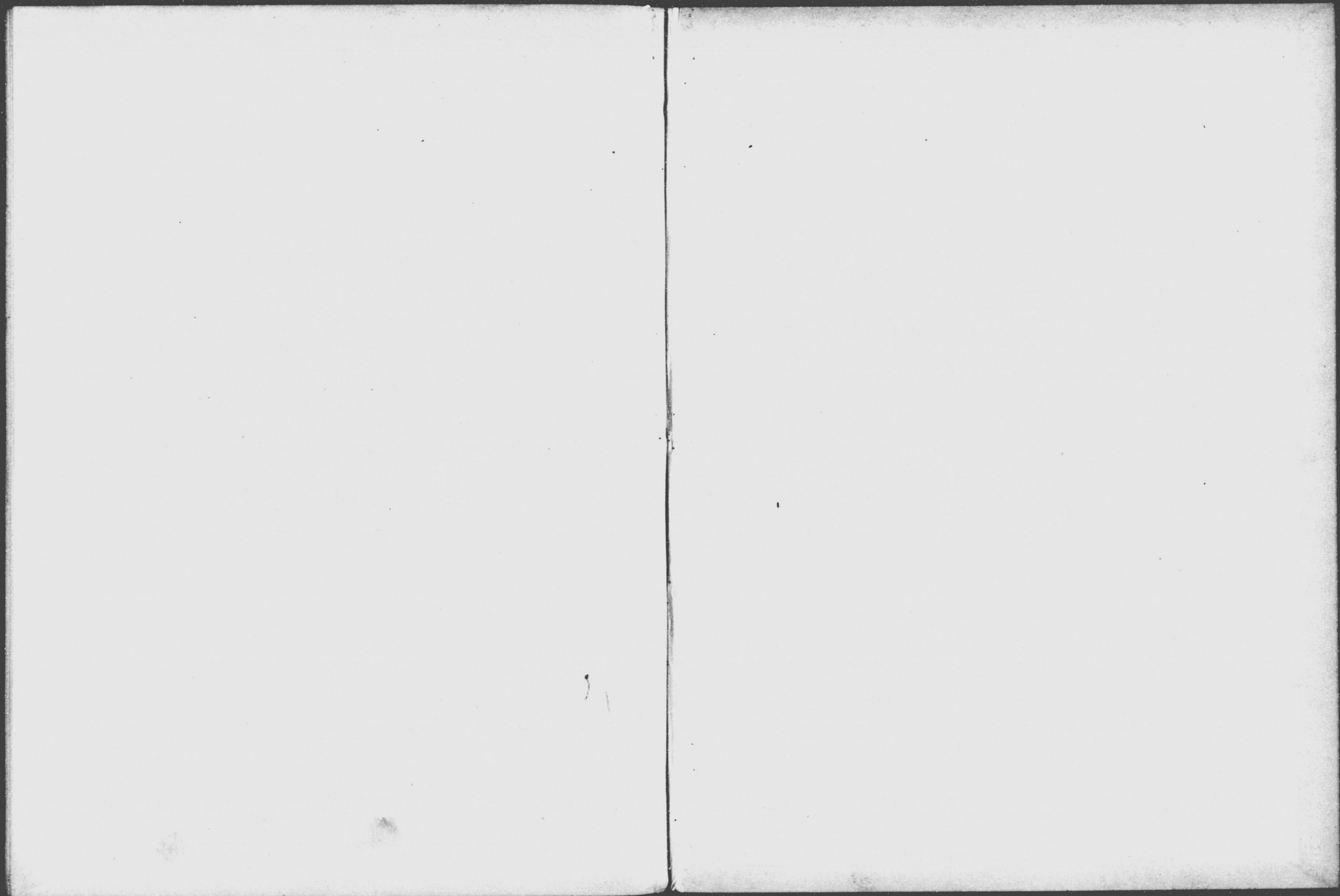
DE6-5

英国ノ対日経済的压迫ノ諸手段
並其影響ト之ニ対スル方策

日滿財政経済研究会

1938

ADD



極秘

昭和十三年三月

英國ノ對日經濟的壓迫ノ諸手段並其影響ト之ニ對スル方策（第二次案）

DE 6
5



775312

内 容 目 次

第一、概 説	一
第二、磅地域ニ對スル我カ国際貸借ノ現狀	三
一、磅決済地域ト認メラルモノ	三
二、磅決済地域ニ對スル貿易	四
三、磅決済地域ニ對スル貿易外收支	八
第三、對日經濟壓迫ノ手段ト其ノ順序	一〇
一、直接手段	一〇
二、間接手段	一〇
三、実行ノ順序	一一
第四、對日經濟壓迫ノ影響	一二
一、円爲替ノダンピングノ場合	一二
二、日本公社債ノ賣叩キノ場合	一二
三、爲替割引拒絶ノ場合	一三
四、對日不賣並ニ不買ノ場合	一四

第五、對策

一、金融的壓迫ニ對スル方策

二、幣制改革ニ於テ講セラルヘキ手段

三、幣制改革以外ニ於テ講スヘキ手段

四、結 論

五、通商の壓迫ニ對スル方策

六、附屬參考表目次

一、表 昭和十二年度幣制改革後地域内貿易国別統計

二、表 幣制改革後地域内主要輸出入商別

三、表 幣制改革後地域内貿易月別統計

四、表 幣制改革後地域内貿易月別統計

五、表 幣制改革後地域内貿易月別統計

六、表 獨立地域内貿易月別統計

七、表 全地域内貿易月別統計

八、表 最近三ヶ年間貿易外收支統計

第九表 外貨資産本邦人所有高
第十表 本邦外國公社債現在高
第十一表 昭和十二年申月別金現送高
第十二表 本邦主要銀行外爲所有高

以

上

英國ノ對日經濟的壓迫ノ諸手段並其影響ト之ニ對スル方策（第二次案）

第一、概 說

英國ハ大陸ニ於ケル我カ行動ニ依リ脅威ヲ蒙ルヘキ自己權益ノ擁護ヲ計ルコトヲ目的トシテ、其經濟的勢力圏タル磅決濟地域ニ於テ我國ニ各種ノ經濟的壓迫ヲ加ヘ、一方ニ於テハ我國ノ對外支拂力ノ自由ナル運用ヲ拘束シ、他方ニ於テハ我カ國際收支ヲ惡化セシメ、以テ此等地域ニ於ケル我輸出貿易ニ打撃ヲ與フルト共ニ、戰爭遂行上必要ナル物資ノ購入ヲ困難ナラシメ我國ノ對支行動ヲ阻碍セント試ミルコト或ハアルヘキカト豫想セラル。

然レトモ斯ル場合ニ於テモ英國ハ恐ラク外交問題ヲ惹起スルカ如キ國家的行動ヲ以テ正面ヨリ壓迫シ來ルコトナク、努メテ實質的效果ヲ擧ケ得ル如キ民間ノ商行爲ヲ以テ臨ミ來ルヘシ。

故ニ、之ニ對シ我國トシテモ一方磅地域ノ貿易ノ我國ニ取リテノ重要性ニ鑑ミ、他方對支長期戰ヲ控ヘ、ソ聯ノ向背俄ニ逆睹シ難キモノアルニ稽ヘ、直ニ英國ノ壓迫ニ應シテ之ヲ刺戟スルカ如キ露骨ナル手段

第二、磅地域ニ對スル我カ国際貸借ノ現状

一 磅決済地域ト認メラルモノ

南北アメリカニ於ケル弗地域、東洋ニ於ケル円プロツク及ヒ歐洲大陸ニ在ツテハ獨佛伊及ソ聯四ヶ国夫々ノ獨立地域ヲ除ケハ世界ノ大半ニ亘ル諸国並諸領ハ磅決済地域ニ属スルモノト見ルヘシ。而シテ我國トノ關係特ニ密接ナルモノハ左ノ如ク英領印度ノ七億五千万円ヲ始メ、貿易額一億円以上ニ上ルモノ七ヶ国ニシテ其ノ貿易年額二十億円ヲ算シ、磅決済全地域分ノ七割三分ヲ占ム。

磅地域内ニ於ケル主要貿易国（昭和十二年度統計 單位百万円）

國別	輸出	輸入	計	磅全地域ニ對スル割合
英領印度（第一位）	二九〇	四五〇	七四〇	二七%
蘭領印度（第二位）	二〇〇	一五三	三五三	一三%
英本國（第三位）	一六八	一〇六	二七四	一〇%
濠洲（第四位）	七二	六五	一三七	五%
南阿聯邦（第五位）	五七	八九	一四六	五%
海峽植民地（第六位）	六三	七八	一四一	五%
埃太（第七位）	三三	七四	一〇七	四%
七ヶ国計（一億円以上）	八三三	一〇五七	一八九〇	七三%
其他共總計	一一五	一〇九	二二四	八%

ニ 磅 決 濟 地 域 ニ 對 ス ル 貿 易

(1) 貿 易 ノ 依 存 度

最近三ヶ年間ノ実績ニ依レハ、磅決濟地域内ノ貿易ハ輸出ニ於テ三割八九分、輸入ニ於テ約四割、輸出入總額ニ於テ三割八九分乃至四割内外ノ多キヲ占ム。

磅 地 域 内 最 近 三 ヶ 年 間 貿 易 統 計 (單 位 百 万 円)

年 度	輸 出	輸 入	計
昭和十年	九九三	六七三	一六六六
昭和十一年	一〇〇八	四〇	一〇九九
昭和十二年	一二五四	四〇	一七六三
			四〇
			三八
			四〇

註、%ハ本邦輸出入總額ニ對スル割合ヲ示ス。

之ヲ磅決濟地域及其他ノ地域ト比較スルモ左ノ如ク我國トノ依存關係最モ緊密ナルモノアルヲ知ルヘシ。

決濟地域別貿易統計 (昭和十二年度 單位百万円)

地域別	輸出		輸入		計
	金額	%	金額	%	
磅地域	1,254	39%	1,509	40%	2,763
弗地域	844	27%	1,527	40%	2,371
円地域	791	25%	438	12%	1,229
其他獨立地域	286	9%	306	8%	592
計	3,175	100%	3,783	100%	6,958

註、支那貿易ハ自今原則トシテ円プロツク内ニ包括セラレヘキモノトシテ便宜円地域ニ加算シタルモ、從來ハ磅若クハ弗地域ニ屬スルモノナリシヲ以テ、本件磅地域ノ依存度ハ少クトモ過去ニ於テハ前記四割程度以上ノモノナリシ筈ナリ。

(四) 貿易ニ於ケル貸借尻

我カ全貿易ノ大勢ニ準シ本地域内貿易尻モ亦近來赤字増大シテ昨年中入超額二億五千五百万円ヲ算セリ、仍テ輸出ノ誤差ヲ五%トセハ實質上ノ入超一億九千三百万円トナルヘシ。

最近三ヶ年間貿易尻 (単位百万円)

年 度	輸 出	輸 入	差引出入(△)超	輸出ノ誤差修正ノ場合
昭和十年	九九三	九七三	二〇	六九
昭和十一年	一〇〇八	一〇九一	△ 八三	△ 三三
昭和十二年	一二五四	一五〇九	△ 二五五	△ 一九三

然ルニ我方貿易上輸入ハ概シテ上半期ニ集中セララルヲ以テ、一定時期ニ於ケル入超額ハ大体六七月ノ交季節的ニ最モ増大シ、昨年申七月迄連月ノ入超累計四億五百万円ヲ算シタル次第ナリ。

季節關係ヲ考慮シタル場合ノ入超最高額(昭和十二年)但、誤差修正)

月 別	出入(△)超額	出入(△)超額累計
一 月 中	△ 五四九四〇 千円	△ 五四九〇〇 千円
二 月 中	△ 六七一〇〇	△ 一二二〇〇〇
三 月 中	△ 八六七〇〇	△ 二〇八八〇〇
四 月 中	△ 五六二〇〇	△ 二六五〇〇〇
五 月 中	△ 八一九〇〇	△ 三四六九〇〇

計	十二月中	十一月中	十月中	九月中	八月中	七月中	六月中
△一九二七〇〇	三三九〇〇	五二〇〇〇	六九四〇〇	三八六〇〇	一八三〇〇	△九二〇〇	△四八八〇〇
△一九二七〇〇			二一三二〇〇			△四〇四九〇〇	△三九三七〇〇

即チ、昨年度実績ニ基クトキハ入超ノ季節的増大二億一千二百万
 円ニシテ、倍額以上ノ膨脹ヲ來シタルモ更ニ仔細ニ検討セハ、昨
 年上期中見越輸入特ニ顯著ナリシ事情ヲ參酌セラレハ、仍チ前
 年中ノ季節關係ヲ考慮シテ大体ノ見込数字ヲ求ムレハ、昨年度貿
 易額ヲ基準トスル傍地域内入超額ノ季節的限度ハ三億三千五百万
 円内外ト押ヘラルヘシ。

(A) 昭和十二年度実績

七月迄入超額

四〇四九〇〇千円

(B) 全、前年中ノ型ニ引直シタルモノ

二六三二〇〇千円

(A) (B)ノ平均

三三三〇〇〇千円

三 磅決濟地域ニ對スル貿易外收支

本邦貿易外ノ收支ハ統計上一應昭和十一年度ノ數字ニ依ルノ外ナシ。即チ昭和十一年中貿易外受取勘定十五億六千六百万円、支拂勘定十六億二百万円ニシテ、收支差引三千六百万円ノ支拂超過ナルカ、此ノ内本件磅地域ノミノ勘定ハ明確ナラス、仍テ推定ヲ加ヘ海運及保險收支ニ在ツテ其ノ六割、政府支拂ニ於テ約三割、外貨利子配當關係ニ於テ約四割、其他ニ於テ略トント見レハ、收支差引二千七八百万円ノ受取超過トナル筈ニシテ、昨年度ニ於ケル數字モ大体之ト大差ナキ見込ナリ。

※ ※ ※ ※ ※

而シテ此分ハ季節的色彩比較的濃密ナラサルヲ以テ、前記貿易ノ入超時期タル上半期分ノミナラハ右ノ半額程度ヲ見込ムヲ以テ可トス

ヘキカ故ニ、前節貿易トノ綜合觀察ニ於テハ七月迄ノ貿易入超三億
三千五百万円、全貿易外受取超過千五百万円トシテ、國際貸借ニ於
ケル結局ノ支拂超過三億二千万円ト押ヘラルヘシ。

第三、對日經濟壓迫ノ手段ト其ノ順序

一 直接手段

- (1) 日本商社及銀行ニ對スル金融ノ引締メ
貸付金ノ逐次回收ト新規申込ニ對スル拒絕
- (2) 無担保貸越契約ノ一方的廢棄
- (3) 日本公社債ニ對スル担保取扱ノ中止
- (4) 爲替割引ノ手加減若クハ拒絕
日本商社若クハ銀行ニ對シ逐次取扱條件ノ惡化ニ依テ輸出手形ノ直接割引若クハ再割引ヲ手加減シ遂ニハ之ヲ拒絕スルニ至ルモノ
- (5) 担保ノ有無ニ拘ラサル貸越契約ノ不履行
- (6) 円爲替ノダンピング
- (7) 日本公社債ノ賣叩キ
- (8) 對日不賣若クハ不買ノ斷行

二 間接手段

- (1) 日本品ニ對スル荷役ノ中止

(四) 日本船ニ依ル取扱ノ中止

(五) 日本保險會社ノ保險ヲ認メス

(六) 其他手形若クハ受渡ニ對スル諸種ノクシム

三 実行ノ順序

前掲直接手段中第三項迄ハ現在実施中若クハ通告済ニ屬スルモ、第四項爲替割引ノ拒絶以下ハ大体ニ於テ現在迄未着手ノモノト見ルヘシ。

他方間接手段ハ現ニ実施中ノモノ多キモ今後一層強化ノ場合ヲ豫測シ得ラルルナリ。

而シテ當面最モ懸念スヘキ問題ハ、爲替割引拒絶ノ方法ニ依ル經濟壓迫ノ場合ニ於ケル我カ打撃ノ程度如何ニ在ルヘシ。

第四、對日經濟壓迫ノ影響

一 円爲替ダシピングノ場合

円爲替ダシピングハ觀念的ニ可能ナレトモ、實物市場ニ於テ円爲替ノ調達ハ必スシモ容易ナラス、從ツテ大量ノ賣叩キハ事實不可能ト見ラレ、此ノ手段ハ強チ懸念スヘキ程ノモノナラス。

尤モ逆效果トシテ磅賣惜ミノ方法アリ聊注意スヘキモノアルカ如シ。
ニ 日本公社債賣叩キノ場合

我國ノ外債ハ磅貨債九千五百八十萬磅ヲ始メ、弗貨債三億四千六百萬弗、法貨債四億七千九百萬法ヲ算シ、平價換算總額十八億千六百萬円ニ上ルモ、其ノ大半ハ本邦人ノ所有ニ屬スルノミナラス固定的ノ所有者寧ろ多數ノ見込ナルヲ以テ實物市場極メテ狹隘ノモノト認メラル。且賣崩シニヨリ蒙ルヘキ主タル不利益ハ担保能力ノ下落ト將來ニ於ケル外債募集ノ際ニ起ルヘキ支障トノ二ナリ。

然ルニ既ニ担保資格ナキモノトシテ疎外サレアルヲ以テ、賣崩シニヨル今後ノ不利益ハ極メテ局限セラレタル程度ニシテ、敢テ俱ルル

ニ足ラス。

三 爲替割引拒絶ノ場合

国際貸借ノ現状ニ於テ我國ハ磅地域ニ對シ前額最高三億二千万円内外ノ支拂超過ト推セラレ、資金のニ繁忙勝ニ終始スヘキ現勢ニアツテ、手形割引若クハ再割引可能ノ有無ハ影響重大ニシテ又當面最モ現実的ナル問題ナリ。

仍テ以下実情ニ就キ稍詳細ノ檢討ヲ試ムレハ、先ツ最近ノ貿易額ヲ基準トシテ見ル場合、昨年中磅地域ニ於ケル最大入超額四億五百万円ニ對シ見越輸入關係ノ調整約七千万円及ヒ上半期貿易外受取超過約千五百万円ヲ控除シ支拂超過最高三億二千万円トナルカ、他方輸出手形ノ出廻平均九十日ト見テ、昨年度八、九、十、三ヶ月間總額三億八千万円ニ上ルカ故ニ、手形割引六割程度ナラハ二億二千万円ノ前借資金ヲ得ラルヘク、差引資金不足額九千万円乃至一億円内外ニ止マリ、恰カモ現在設定中ノ担保極度ヲ以テ略賄ヒ得ラルル勸定ナリ。

四 對日不賣並不買ノ場合

然ルニ全面的ニ割引ヲ拒絶セラルル場合ニハ、右輸出手形ノ割引ニ依ツテ得ラルヘキ資金二億二千万円ヲ失フニ至ルノミナラス他方輸入ノ方面ニ於テモ賣手側ノナス手形取引ノ回避ニ依ル資金ノ手詰アリ、假ニ之ヲ一億円ト押ヘナハ、担保極度超過總額三億二千万円ヲ豫測セラレ、更ニ事實上借越極度喪失ノ場合ニハ大約四億二千万円ノ資金不足ヲ來スヘシ。

尤モ輸出手形中信用狀付ノモノニ對シテハ、輸入国側ノ自衛上割引拒絶ノコト恐ラク無之カルヘキヲ以テ、信用狀付ノ手形ヲ總額ノ三割トシテ之ヲ見込メハ一億一千万円内外ノ前借資金ヲ豫定シ得ヘキカ故ニ、此ノ場合ニ於ケル資金不足額概算三億一千万円ト押ヘラルナリ。之金現送其他特別ノ支拂手段ヲ要スヘキ限度ト見ルヘシ。

對日經濟壓迫モ茲ニ至ツテハ英本国ノミナラス其ノ勢力圈内ニ亘ルヘキ大問題ナルカ、斯クノ如キ露骨ナル經濟斷交ハ寧ろ戰爭ノ前曲トシテ我カ戰時貿易對策ノ範疇ニ屬スルモノト考ヘラルルモ、經濟

斷行ニ至ラサル程度ニ於テ相當廣範圍ニ亘ルモ、民間行爲トシテ各
個的現象ノ形ヲトル場合ニ就テハ、充分考察スル要アリ。
斯ル場合ノ日本品不買ハ英帝國市場以外ノ磅地域ニ及ハス、且ツ日
印、日濠等輸出入ニ求償制度採用ヲ見タル地方ニ對シテハ決濟尻ニ
大ナル變動ナカルヘキモ、尙相當ノ打撃アルヘシ。昨年度ノ對英帝
國市場輸出ハ、印度・濠洲・南阿等求償地域ヲ除キ約三億五千万円、
印度ノミヲ除外セハ約七億円ナルヲ以テ、最大限其ノ四割ヲ失フモ
ノトスレハ、一億四千万円乃至二億八千万円ノ損失ナリ。

第五、對策

對日經濟壓迫ノ手段如何ニヨリ講セラルヘキ對策モ亦自ラ其ノ趣ヲ具ニスヘキ筈ナントモ前述ノ如ク先ツ日爲替ノ凶シビシク及ヒ日本公債債ノ賣却キニ對シテハ格別ノ對策ヲ要セサルモノト看做セハ所詮問題ハ彼ノ加フヘキ金融的及通商的壓迫ニ對シテ我ノ抗シ得ヘキ方策如何ニ在リトナスヘシ。

一、金融的壓迫ニ對スル方策

對策ヲ施スヘキ地域ノ孰レタルヲ不同苟クモ主題トシテ金融上ノ打擊緩和ヲ目的トスル以上積極的ニ新タナル支拂手段ヲ獲得スルカ又ハ消極的ニ支拂ソノモノヲ輕減セシムヘキカノ二途ニ出テサルナリ。

（イ）貿易ノ調整

貿易ノ調整ハ我國刻下ノ要請ナルカ此ノ非常時局ニ處シテ果シテ輸入ノ膨脹ヲ制シ得ヘキカハ頗ル疑問ト謂ハサルヘカラス仍テ一應ノ觀測ニ過キササルモノトノ前提ノ下ニ云ヘハ本昭和十三

年以降ハ可及的ニ輸出ノ限度ニ於テ輸入ヲ均衡セシムル建前ノ下ニ計畫的ニ大体三割方ノ輸入節約ヲ行ハシムルモノトセハ他方求償主義ニ基ク特約上相互的ニ輸出ノ減退ヲ來スヘキモノアルヲ以テ之ヲ前者ノ半額程度ト押ヘルトキハ左ノ如ク支拂額ニ於テ凡ソ二億一千万円ノ輕減トナル計算ナリ。

上半期入超期間中ノ見方（單位百万円）

見方ノ順序	輸出	輸入	差引入超
(A) 昭和十二年度実績ニヨル場合	七二〇	一、二二〇	△五〇〇
(B) 全、見越輸入調整ノ場合	七三一	一、〇六六	△三三三
(C) 輸入三〇%輸出一五%減少ノ場合	六二一	七四六	△二二五
(D) (C)ノ(B)ニ對スル支拂輕減額	△二一〇	△三二〇	輕減二一〇

(四) 貿易品ノ振替

棉花、羊毛等滿洲及北支ニ對シ一部代位セシムル方法アルモ差當リ多ク期待困難ノ見込ナルノミナラス徹底的ノ非常手段ハ寧ろ經濟斷交ノ場合ニ考慮セラレヘキ問題ト謂フヘシ。

(イ) 弗建へノ変更

從來磅建ノ取引ニ對シ之ヲ弗建ニ改ムルトキハ夫レタケ磅決濟
尻ノ改善ヲ期シ得ヘキ筈ナルカ弗市場ノフアシリテイハ磅ノ夫
レニ比シ著シク劣勢ニ在ル現狀ニ於テ相手方ノ承諾ヲ求ムルコ
ト至難ナラン。

(ロ) 外國證券ノ資金化

本邦人ノ所有ニ係ル外貨資産中磅及弗表示ノ分ハ昨年秋季頃ニテ
時價約五億円ニシテ、外貨預ケ金、貸付金ト全預リ金及借入金
ヲ加除スル時ハ約四億一千万円ト算シ得。爲替ノ季節的増大分
一億円見當ト抑フレハハ先物三ヶ月分ニ差引三億円ナリ。
仍テ担保差入分ヲ英米担保極度計一億五千万円トシテ七割ノ差
入トスレハ時價二億一、二千万円内外ニシテ差引七、八千万円
ノ担保外證券ヲ所有スヘキ計算ナリ。

而シテ右ハ換價自在ト認メラルルヲ以テ之ヲ資金化スルコト難
事ニ非ルヘシ。

ニ磅地域以外ニ於テ講スヘキ手段

(イ) 弗市場ヘノ切替

磅ノ決済ヲ弗ニ切替ヘン手段ハ最モ考ヘ易ク亦一應實際的ノ手段ト認メラルルモ具體的ニハ先ツ我國ノ弗地域ニ對スル貸借關係ヲ突止ムルノ要アリ。然ルニ貿易關係ハ最近六億四千万圓ノ入超ニシテ貿易ノ調整可能トセラレサル限り現持ノ途ナク又季節的ニモ連月赤字一本ナレハ資金の餘裕ヲ求メ難クアメリカニ於ケル担保程度モ五千万圓内外ニ過キサルモノノ如シ。他方貿易外收支ニ於テハ多少ノ受取超過ト假定スルモ問題トナラス更ニ弗市場ノフアシリテイハ磅ニ比シ著シク劣レルモノアル等ノ事情ヲ考慮セハ磅ノ弗ニ對スル切替ハ事實容易ナラス之カ実現ヲ期センカ爲メニハ所詮別途此ノ方面ニ新規ノ支拂手段ヲ獲得スルノ外ナキ次第ナリ。

(ロ) 在外正貨ノ設定

弗地域ニ對スル支拂超過ニ備ヘ且ツハ磅ノ弗ニ對スル切替ヲ容

易ナラシムル方法トシテアメリカニ對シ豫メ在外正價ヲ設置スルノ可否ハ金不足ノ我國トシテ別途慎重攻究スヘキ問題ナリ。
イ) クレジットノ設定

支拂手段不足勝ノ現状ニ於テクレジットノ設定ハ理想トシテ最モ望マシ又強イテ望ミアルモノ也獨逸ヘノ期待幾分ヲ除ケハ米國ヲ措イテ他ニ求メ得サル実情ナレトモ本項モ前項ト全様ニ寧ロ別種ノ問題トシテ検討セラルヘキ課題ナラン。

結論

對地域ニ對スル資金不足ノ限度ハ華節關係ヲ見込ミ前陳三億一千万円ト見送リ一應ノ目算トセハ之ニ對シテ

イ) 担保積度ニ場合ニヨリ現金化 九千万円乃至一億円

ロ) 貿易ノ調整ニヨルモノ 二億一千万円内外

ハ) 外貨證券ノ資金化 二億乃至三億円

ニ) 其他ノ方法ニヨルモノ 若干

華節手帳和幣トハ支拂手段獲得ノ途強ク薄弱トハ認メ難ク一見悲

觀ノ要ナキ方如シト雖モ先ツ問題トスヘキハ前述ノ如ク輸入ノ調整果シテ可能ナリヤ逆ニ輸入増大ノ必然性コソ是認セサルヘカラスル事情アリトセンカ本件對日經濟壓迫ヲ目的トスル英國ノ出方如何ハ飽ク迄關心ニ値スヘキ問題ト謂ハサルヘカラス。

故ニ極端ニ担保極度ノ活用ヲモ見込ミ難キ場合ヲ豫想セハ最モ效果的ノ方法トシテ左記

(1) 外貨證券ノ資金化ニ依ツテ英國ニ外貨預金ヲ置ク方法

(2) 債務決済ヲ弗決済ニ切替ヘル爲メ特別ノ工作ヲ試ムル方法

ノ二ヲ擧ケ得ラルル譯ナレトモ後者ノ方法ヲシテ效果アラシメンカ爲メニハ所詮英國ヲ刺戟スル結果ニ陷ルモノト假定センカ對英關係頗ル機微ニ亘ルモノアル今日蓋シ策ノ得タルモノニハアラス時局ハ本件ノ處置ノミニ没頭スルヲ許サス仍テ結論トシテハ多少ノウエーストヲ忍フモ益當リ外貨證券資金化ノ方面ニ之カ解決ノ途ヲ求ムルノ賢ナルニ如カサルモノノ如ク是國際問題ヲ化シテ以テ國內問題ニ引移スヘキ所以ノ途ナルト共ニ元來外貨資産ノ總員

ハ我カ貿易政策上早晚採擇セラルヘキ問題トナスヘシ。
 二 通商の壓迫ニ對スル方策

不賣不買其他ノ通商壓迫カ央國政府ノ隠レタル指導ノ下ニ全面的經濟斷行ニ導ク過渡的手段トシテ行ハルモノト認ムヘキ最惡ノ場合ヲ除キ、我國トシテハ飽迄モ碎地域ノ貿易ヲ維持スル建前ノ下ニ、其等壓迫ノ激甚ナル地域ニ對シテハ第三國機關（商社、船舶等）ノ利用、貿易ノ總地域ヘノ一時的轉換等ノ方法ニヨリ之ニ對處スヘキモノナルヘシ。廣汎且大ナル貿易ノ弗決濟地域其他ヘノ轉換ハ最惡ノ場合ニ處スル我方策トシテ豫メ準備スルヲ要スルモ今日ノ情勢ノ下ニ於テハ尙末々斯ル政策ヲ具体化スヘキ時期到レリトハ認メ難ク反對ニ寧ロ英國ノ對日外交ヲ我方ニ有利ニ轉向セシムヘキ確信ヲ以テ更ニ一段ノ努力ヲ試ミル余地充分ニアリト考フ。

然レ共、將來弗決濟地域等ニ對スル斯ル大規模ノ貿易轉換ノ必要ノ生スヘキコトシモ考慮シ其爲ニモ最モ必要ナル日米間ノ外交調整ヲ極力計ルコトハ總有ル角度ヨリ見テ今日我國ノ行フヘキ最大緊急事ナルヘシ。

備考。

参考トシテ經濟斷交ノ場合ニ對スル方策ヲ示セハ次ノ如シ。

(1) 輸入

重要輸入品ノ對英帝國市場依存ヲ對米及滿支プロツク依存ニ即チ廣汎且ツ大ナル轉換率ニヨリ下表ノ如ク概ネ五億円ヲハ節約スルトキハ英帝國市場ヨリノ輸入額約七億円トナル。買付得サル時ハ民需ヲ極度ニ壓迫シ軍需ノミヲ極力非英國ニ平替ス。

此ノ場合ノ對英帝國輸入額ハ非英帝國分ニ變化ナシトセヨリ。

右五億円ノ半ハツ弗決済地域ニ轉換スルモノトセハ約二億三千万圓在輸入額ニ増加シ、弗決済地域輸入額ハ計約十八億三千万圓トシ、對弗地域輸出ヲ考慮シ、努メテ入超ヲ抑制スルニ爲シテ節約シテ右輸入額ヲ十五億円程度ニ止ムル要アルヘシ。

計	新 濠 肯 南 英 英 海 英 荷 英	西 洲 尼亞、ウガンダ、タンガニカ 阿 聯 邦 領 邦 領 屬 來 地 度 度 国	昭和十一年度	豫想輸入額	主要商品
(約)			一〇七五八	八〇〇〇〇	鉄鋼製品、染料
			一〇四六九二	五〇〇〇〇	木材、バルブ
			四四九四八六	二五〇〇〇〇	棉花
			六七七九六	五〇〇〇〇	ゴム
			四七七九五	四〇〇〇〇	ゴム
			一八七七六	一〇〇〇〇	石油
			八八八五二	四〇〇〇〇	羊毛
			二四一五五	一〇〇〇〇	棉花、曹達
			一六五二五二	一〇〇〇〇	羊毛
			四八六三三	三〇〇〇〇	羊毛
			一一二〇〇〇〇	六六〇〇〇〇	

(單位 千円)

昭和十一年度 豫想輸入額

英 国 一〇七五八

荷 度 一〇四六九二

英 領 地 四四九四八六

海 峽 植 民 地 六七七九六

英 領 屬 來 四七七九五

英 領 邦 一八七七六

南 阿 聯 邦 八八八五二

肯 尼亞、ウガンダ、タンガニカ 二四一五五

濠 洲 一六五二五二

新 西 蘭 四八六三三

計 (約) 一一二〇〇〇〇

豫想輸入額 六六〇〇〇〇

主要商品

鉄鋼製品、染料

木材、バルブ

棉花

ゴム

ゴム

石油

羊毛

棉花、曹達

羊毛

羊毛

出入超	輸入	輸出	地	
			英帝国	非英帝国
(-) 二六〇	七四〇	四四〇	磅	
(+) 六〇	三〇〇	三六〇	地	
(-) 二〇〇〇	一〇〇〇	八〇〇	合	域
(-) 三七〇	一五〇〇	一一三〇	計	弗地域

(單位百万円)

(3) 輸出

目標、滿支プロツク、米國、中南米其他非英帝国市場への輸出ヲ振興ス。

今、英帝国市場ニ對スル輸出力昭和十二年ノ半額ニ減スルモノトセハ約四億五千万円内外ノ減少ナリ。此ヲ前記ノ目標市場ニテ恢復スルモノトシ、滿支プロツク以外ノ地(大体弗地域)ニ於テ三億円ヲ豫定セハ、次ノ如キ輸出入狀況ヲ豫想シ得。

(3) 右約五億円ノ決済ノ爲メ、金現送、外國證券動員乃至シレテツト定ニヨリ在外正貨ヲ設置ス。
 但シ設置個所ヲ米國(紐育)トス。
 (4) 此ノ振替ノ結果、磅決済地域ト弗決済地域トハ其ノ地位ヲ顛倒シ、概ネ次ノ如クナルモノト一應豫想セララル。

輸 入	輸 出	昭和十一年度	
		磅決済地域	弗決済地域
一五〇九(四〇)	一三五四(三九%)	一五二五(四〇)	八三一(二六%)
		豫 想	
		一〇〇〇	一三三〇
		一五〇〇	一五〇〇

(註) 但シ、カナダハ英帝國市場ニシテ且ツ弗決済地域中ニ計ヘラルルヲ以テ、轉換後ハ、最悪ノ場合ト雖、我國ト米國ト親善ナル通商關係ノ持續セララル限、米國經由ニテ貿易ノ繼續ニ十分豫想シ得ヘシ。

仍テ我爲替基準ハ、磅リシクヲ離シ弗リシクトナルコトヲ考ヘラレ
而シテ、右ノ如キ對米經濟接近ニ當リテハ、日米間ノ國交調整ヲ以
テ前提トスルコトハ言フマテモナシ。

附屬參考表目次

- 第一表 昭和十二年度倭地域內貿易國別統計
- 第二表 倭地域內主要輸出入商品別
- 第三表 倭地域內貿易月別統計
- 第四表 弗地域內貿易月別統計
- 第五表 円地域內貿易月別統計
- 第六表 獨立地域內貿易月別統計
- 第七表 全地域內貿易月別統計
- 第八表 最近三ヶ年間貿易外收支統計
- 第九表 外貨資產本邦人所有高
- 第十表 本邦外國公社債現在高
- 第十一表 昭和十二年中月別金現送高
- 第十二表 本邦主要銀行外爲所有高

以

上

昭和十二年度... 貿易... 統計... 輸出... 輸入... 計... 単位千円

第一表 昭和十二年度傍地域内貿易国別統計（単位千円）

国別	輸出	輸入	計	国別	輸出	輸入	計
英 本 国	一六七九〇〇	一〇五八〇〇	二七三七〇〇	アルゼンチン	四二五〇〇	四二〇〇〇	八四五〇〇
瑞 典	一七五〇〇	四九三〇〇	六六八〇〇	ウルグワイ	四七〇〇	三三九〇〇	三八六〇〇
諾 威	八九〇〇	二四〇〇〇	三二九〇〇	パラグワイ	一〇一〇〇	二〇〇	一〇三〇〇
芬 蘭	六〇〇〇	九六〇〇	一五六〇〇	其他中南米	四二〇〇	三〇〇	四五〇〇
其他 歐洲	四八九〇〇	七〇三〇〇	一一九二〇〇	英領印度	二九四〇〇	四四六五〇〇	七四八九〇〇
南 阿 聯 邦	五三七〇〇	八八九〇〇	一四二六〇〇	蘭領印度	二〇〇一〇〇	一五三四〇〇	三五三五〇〇
埃 太	三三八〇〇	七四一〇〇	一〇六九〇〇	海峽植民地	六七四〇〇	六七八〇〇	一三五二〇〇
ケニヤ、ウガンダ	四〇一〇〇	二四二〇〇	六四三〇〇	香 港	四九一〇〇	五三〇〇	五四四〇〇
スーダン	一五八〇〇	五九〇〇	二一七〇〇	英領マレイ	三九〇〇	四七八〇〇	五一七〇〇
ナイゼリア	一四七〇〇	一	一四七〇〇	イラツク	二二六〇〇	九〇〇〇	三二六〇〇
黄金海岸	六八〇〇	一〇〇〇	七八〇〇	セイロン	一八七〇〇	四一〇〇	二二八〇〇
其他アフリカ	二二〇〇	八〇〇	三〇〇〇	ア デ ン	一四二〇〇	一四〇〇	一五六〇〇
濠 太 利	七二〇〇	一六三〇〇	二三四〇〇	英領ボルネオ	一〇〇〇	一八八〇〇	一九八〇〇
新 西 蘭	一九六〇〇	四八六〇〇	六八二〇〇	其他亞細亞洲	一二五〇〇	七三〇〇	一九八〇〇
其他太平洋	二二〇〇	二〇〇	二二〇〇	總 計	一二五四五〇〇	一五〇八八〇〇	二七六三三〇〇

第二表 磅地域内主要輸出入商品別（單位千円）

商 品 別	輸 出		輸 入	
	昭和十年度	昭和十一年度	昭和十年度	昭和十一年度
綿織物	二八六〇〇	三三九〇〇	三七九七〇	四四三〇〇
蘭領印度	五五〇〇〇	八五七〇〇	三一五〇〇	三六三六〇
英領印度	七二五〇〇	六三〇〇〇	三六四〇〇	五八八〇〇
亞爾然丁	一四八〇〇	二九二〇〇	二七五〇〇	二一五〇〇
暹羅	一三六〇〇	一六二〇〇		
海峽殖民地	九二〇〇	一三二〇〇	一九九〇〇	二六二六〇
埃阿聯邦	二〇五〇〇	一〇五〇〇	一四七五〇	一一八三〇
南阿聯邦	七四〇〇	一〇二〇〇	一七四〇〇	八二八〇〇
人絹織物	九〇二〇〇	九三九〇〇	一八三〇〇	四二八〇〇
英領印度	二六二〇〇	三二五〇〇	六六〇〇	一七七〇〇
濠太利	一八四〇〇	一六七〇〇	四八一〇〇	六七七〇〇
蘭領印度	一六六〇〇	一四四〇〇	二二九〇〇	四一六〇〇
生糸	三三九〇〇	四四八〇〇	二二九〇〇	二五八〇〇
英領印度	三三六〇〇	三一四〇〇	五三〇〇〇	？（發表セズ）
絹織物	一三二〇〇	四一六〇〇	四三四〇〇	？（發表セズ）
英領印度	一三〇〇〇	一三八〇〇	四九八〇〇	？（發表セズ）
綿織物	二八〇〇〇	三八一〇〇	二二二〇〇	？（發表セズ）
英領印度	一八一〇〇	一八九〇〇	二四四〇〇	？（發表セズ）
英領印度	五五〇〇	一三八〇〇	九七〇〇	二七〇〇〇
蘭領印度	三七一〇〇	三七四〇〇	一四六〇〇	一七二〇〇
英吉利	三二四〇〇	二九一〇〇		
小計	五一四二〇〇	五八七七〇〇	七四三九〇〇	？
（本地域内輸出總額）	一〇〇八二〇〇	一二五四四〇〇	一〇九〇九〇〇	一五〇八八〇〇
實綿、繰綿			三七九七〇	四四三〇〇
英領印度			三一五〇〇	三六三六〇
埃、ウガンダ			三六四〇〇	五八八〇〇
クニヤ、ウガンダ			二七五〇〇	二一五〇〇
羊毛			一九九〇〇	二六二六〇
濠太利			一四七五〇	一一八三〇
南阿聯邦			一七四〇〇	八二八〇〇
新西蘭			一八三〇〇	四二八〇〇
亞爾然丁			六六〇〇	一七七〇〇
生糸			四八一〇〇	六七七〇〇
海峽殖民地			二二九〇〇	四一六〇〇
蘭領印度			二二九〇〇	二五八〇〇
礦油			五三〇〇〇	？（發表セズ）
蘭領印度			四三四〇〇	？（發表セズ）
英領印度			四九八〇〇	？（發表セズ）
製紙用パルプ			二二二〇〇	？（發表セズ）
英領印度			二四四〇〇	？（發表セズ）
瑞典			九七〇〇	二七〇〇〇
諾威			一四六〇〇	一七二〇〇
小計			七四三九〇〇	？
（本地域内輸入總額）			一〇九〇九〇〇	一五〇八八〇〇

Table with multiple columns and rows, containing numerical data and some text. The text is very faint and difficult to read, but appears to be a continuation of the data or a separate table. The columns likely represent different categories or time periods, and the rows represent specific items or regions. The data is organized in a grid format, with some cells containing numbers and others containing text or symbols.

注、輸出額ノ誤差ヲ多少トシテ本表ハ修正済ノ計數ヲ示セリ

第四表 弗決濟地域内貿易月別統計（單位千円）

昭和十一年度					昭和十二年度				
月別	輸出	輸入	出入△超	累計	月別	輸出	輸入	出入△超	累計
一月	五六五〇〇	九八一〇〇	△四一六〇〇	△四一六〇〇	一月	六三六〇〇	一〇九六〇〇	△四六〇〇〇	△四六〇〇〇
二月	五七四〇〇	九七四〇〇	△四〇〇〇〇	△八一六〇〇	二月	六五九〇〇	七八六〇〇	△一二七〇〇	△五八七〇〇
三月	五九六〇〇	九五五〇〇	△三五九〇〇	△一一七五〇〇	三月	七八六〇〇	一三〇〇〇〇	△五一四〇〇	△一一〇一〇〇
四月	五二一〇〇	七四六〇〇	△二二五〇〇	△一四〇〇〇〇	四月	八六四〇〇	一一七七〇〇	△三一三〇〇	△一四一三〇〇
五月	五七八〇〇	七五七〇〇	△二五九〇〇	△一六三九〇〇	五月	八〇〇〇〇	一五三三〇〇	△七三三〇〇	△二一四七〇〇
六月	五三七〇〇	八〇一〇〇	△二六四〇〇	△一九三三〇〇	六月	七三八〇〇	一四六一〇〇	△七三三〇〇	△二八七〇〇〇
七月	六八一〇〇	七四三〇〇	△六二〇〇		七月	七六七〇〇	一六五三〇〇	△八八六〇〇	△三七五六〇〇
八月	七一六〇〇	七二〇〇〇	△六〇〇		八月	七七三〇〇	一四四一〇〇	△六六八〇〇	
九月	六八五〇〇	七五五〇〇	△七〇〇〇	△七四四〇〇	九月	七六三〇〇	一二七四〇〇	△五一一〇〇	
十月	七五三〇〇	七六二〇〇	△九〇〇		十月	七九七〇〇	一三二四〇〇	△五二七〇〇	△二六五四〇〇
十一月	七二五〇〇	一〇五〇〇〇	△三二五〇〇		十一月	六五八〇〇	一〇六四〇〇	△四〇六〇〇	
十二月	一〇〇〇〇〇	一二八四〇〇	△二八四〇〇		十二月	六八五〇〇	一一六七〇〇	△五五二〇〇	
計	七八七一〇〇	一〇五二八〇〇	△二六四七〇〇		計	八八五六〇〇	一五二六六〇〇	△六四一〇〇〇	

注、輸出額ノ誤差ヲ多少トシテ本表ハ修正済ノ計數ヲ示セリ

Table with multiple columns and rows, mostly illegible due to fading. Visible headers include months from 一月 to 十二月 and a total row (計). The data appears to be a continuation of the trade statistics from the adjacent page.

注、輸出額ノ誤差ヲ多少トシテ本表ハ修正済ノ計數ヲ示セリ

第五表 円決済地域内貿易月別統計（單位千円）

昭和十一年度					昭和十二年度				
月別	輸出	輸入	出入△超	累計	月別	輸出	輸入	出入△超	累計
一月	三九七〇〇	三八六〇〇	一〇一〇〇	一〇一〇〇	一月	五二五〇〇	四六三〇〇	五二〇〇	五二〇〇
二月	四八三〇〇	三七〇〇〇	一一三〇〇	一二四〇〇	二月	六〇六〇〇	四七八〇〇	一二八〇〇	一八〇〇〇
三月	五八八〇〇	三八六〇〇	二〇三〇〇	三二六〇〇	三月	七七五〇〇	四六〇〇〇	三一五〇〇	四九五〇〇
四月	五八三〇〇	三二一〇〇	二六二〇〇	五八八〇〇	四月	七二五〇〇	三八九〇〇	三三六〇〇	八三一〇〇
五月	六〇八〇〇	三一七〇〇	二九一〇〇	八七九〇〇	五月	七九二〇〇	四四四〇〇	三三八〇〇	一一五九〇〇
六月	五一三〇〇	二七四〇〇	二三九〇〇	一一一八〇〇	六月	七三八〇〇	四三一〇〇	三三七〇〇	一四八六〇〇
七月	五二六〇〇	二四七〇〇	二七九〇〇	一三八〇〇	七月	六九四〇〇	三二三〇〇	三七一〇〇	一八五七〇〇
八月	五九七〇〇	二一〇〇〇	三八五〇〇	一八四六〇〇	八月	五七八〇〇	二七四〇〇	二四四〇〇	
九月	六二九〇〇	二四七〇〇	三八二〇〇		九月	七〇六〇〇	二二二〇〇	四八四〇〇	
十月	六二〇〇〇	三一九〇〇	三〇一〇〇		十月	六九八〇〇	二二三〇〇	四七五〇〇	
十一月	六五〇〇〇	三六八〇〇	二八二〇〇		十一月	六七三〇〇	二四四〇〇	四二九〇〇	
十二月	七一四〇〇	四九七〇〇	二一七〇〇		十二月	八五九〇〇	四一八〇〇	四四一〇〇	
計	六九〇六〇〇	三九四二〇〇	二九六四〇〇		計	八三〇九〇〇	四三七九〇〇	三九三〇〇〇	
(支那)	一六七七〇〇	一五四八〇〇	一二九〇〇		(支那)	一八八三〇〇	一四三六〇〇	四四七〇〇	

注、輸出額ノ誤差ヲ多少トシテ本表ハ修正済ノ計數ヲ示セリ

Table with multiple columns and rows, containing detailed trade statistics for various regions and months. The text is very faint and difficult to read, but it appears to be a continuation of the data presented in the main table.

註、輸出額ノ誤差ヲ五%トシテ本表ハ修正済ノ計數ヲ示セリ

昭和十一年度					昭和十二年度				
月別	輸出	輸入	出入△超	累計	月別	輸出	輸入	出入△超	累計
一月	一七七〇〇	一九三〇〇	△一五〇〇	△一五〇〇	一月	一九二〇〇	一八〇〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇
二月	二一七〇〇	一九三〇〇	△二四〇〇	△三九〇〇	二月	二四三〇〇	二二八〇〇	一、五〇〇	二、七〇〇
三月	二二九〇〇	二四二〇〇	△一三〇〇	△五二〇〇	三月	二四八〇〇	二九〇〇〇	△四二〇〇	一、一四〇〇
四月	二二九〇〇	二四一〇〇	△一二〇〇	△六四〇〇	四月	二二二〇〇	二八七〇〇	△六五〇〇	一、八〇〇
五月	二六四〇〇	二〇四〇〇	△六〇〇〇	△一、二四〇〇	五月	二二五〇〇	二四六〇〇	△二一〇〇	二、〇一〇
六月	二二九〇〇	二五九〇〇	△三〇〇〇	△一、五四〇〇	六月	二九七〇〇	二八五〇〇	一、二〇〇	三、二一〇
七月	二二九〇〇	一六五〇〇	△七四〇〇	△一、二九〇〇	七月	二六六〇〇	二八八〇〇	△二二〇〇	四、四三〇
八月	二〇二〇〇	一六四〇〇	△三八〇〇	△一、六七〇〇	八月	一三〇〇〇	二九二〇〇	△一六二〇〇	六、〇五〇
九月	二九六〇〇	一七八〇〇	△一七八〇〇	△三、四五〇〇	九月	三二二〇〇	二三一〇〇	△一、一〇〇	七、一五〇
十月	二二八〇〇	一九七〇〇	△三、一〇〇	△六、五五〇〇	十月	三二五〇〇	三〇二〇〇	△二、三〇〇	九、四五〇
十一月	三二六〇〇	一六四〇〇	△一六二〇〇	△八、一七〇〇	十一月	二五七〇〇	二四七〇〇	一、〇〇〇	一〇、四五〇
十二月	二七九〇〇	一八五〇〇	△九四〇〇	△一、一七〇〇	十二月	二七七〇〇	二二三〇〇	五、四〇〇	一五、八五〇
計	二九一、九〇〇	二二六、八〇〇	六五、一〇〇	△一、一七〇〇	計	三〇〇、四〇〇	三〇九、九〇〇	△九、五〇〇	六、〇〇

第六表 獨立地域内貿易月別統計 (單位千円)

月別	昭和十一年度		昭和十二年度	
	輸出	輸入	輸出	輸入
一月	一七七〇〇	一九三〇〇	一九二〇〇	一八〇〇〇
二月	二一七〇〇	一九三〇〇	二四三〇〇	二二八〇〇
三月	二二九〇〇	二四二〇〇	二四八〇〇	二九〇〇〇
四月	二二九〇〇	二四一〇〇	二二二〇〇	二八七〇〇
五月	二六四〇〇	二〇四〇〇	二二五〇〇	二四六〇〇
六月	二二九〇〇	二五九〇〇	二九七〇〇	二八五〇〇
七月	二二九〇〇	一六五〇〇	二六六〇〇	二八八〇〇
八月	二〇二〇〇	一六四〇〇	一三〇〇〇	二九二〇〇
九月	二九六〇〇	一七八〇〇	三二二〇〇	二三一〇〇
十月	二二八〇〇	一九七〇〇	三二五〇〇	三〇二〇〇
十一月	三二六〇〇	一六四〇〇	二五七〇〇	二四七〇〇
十二月	二七九〇〇	一八五〇〇	二七七〇〇	二二三〇〇
計	二九一、九〇〇	二二六、八〇〇	三〇〇、四〇〇	三〇九、九〇〇

第七表 全地域内貿易月別統計（單位千円）

昭和十一年度					昭和十二年度				
月別	輸出	輸入	出入△超	累計	月別	輸出	輸入	出入△超	累計
一月	一八三二〇〇	二四四九〇〇	△六、一七〇〇	△六、一七〇〇	一月	二〇九四〇〇	三〇三九〇〇	△九、四五〇〇	△九、四五〇〇
二月	二〇四一〇〇	二五、一八〇〇	△四、七七〇〇	△一〇、九四〇〇	二月	二二七〇〇〇	三〇、二五〇〇	△六、五五〇〇	△一六、〇〇〇〇
三月	二二六三〇〇	二七、六〇〇〇	△四、九七〇〇	△一五、九一〇〇	三月	二八九八〇〇	四〇、〇七〇〇	△一〇、九〇〇〇	△二七、〇九〇〇
四月	二一五六〇〇	二四、七一〇〇	△三、一五〇〇	△一九、〇六〇〇	四月	二七六三〇〇	三三、六六〇〇	△六、〇三〇〇	△三三、一二〇〇
五月	二三〇八〇〇	二四、〇六〇〇	△九、八〇〇〇	△二〇、〇四〇〇	五月	二九六四〇〇	四二、〇〇〇〇	△一、二六〇〇	△四四、五四〇〇
六月	二一八九〇〇	二二、九三〇〇	△一〇、四〇〇〇	△三一、〇八〇〇	六月	二九三二〇〇	三八、二三〇〇	△八、七二〇〇	△五四、一八〇〇
七月	二三三九〇〇	二〇、三三〇〇	三、〇六〇〇	△三三、〇四〇〇	七月	二九六四〇〇	三五、九四〇〇	△六、三〇〇〇	△六〇、四九〇〇
八月	二四一〇〇〇	一九、一三〇〇	四、九八〇〇	△三八、〇二〇〇	八月	二六二七〇〇	三〇、三〇〇〇	△四、〇三〇〇	△六四、五二〇〇
九月	二五五九〇〇	一八、九八〇〇	六、六一〇〇	△四四、一三〇〇	九月	三〇六八〇〇	二六、二八〇〇	四、〇〇〇〇	△六八、五三〇〇
十月	二五七六〇〇	一八、七二〇〇	七、〇四〇〇	△五一、一七〇〇	十月	三一、二〇〇〇	二四、四二〇〇	六、八〇〇〇	△七五、三三〇〇
十一月	二四八七〇〇	二一、八〇〇〇	三、〇七〇〇	△五四、二四〇〇	十一月	二六、五八〇〇	二一、〇〇〇〇	五、五八〇〇	△八〇、九一〇〇
十二月	三一、一六〇〇	二八、四五〇〇	二、七一〇〇	△五七、〇一〇〇	十二月	二八、六二〇〇	二五、七八〇〇	二、八四〇〇	△八三、七五〇〇
計	二八二、七六〇〇	二七六、三七〇〇	六、三九〇〇	△五七、〇一〇〇	計	三三三、四二〇〇	三七八、三二〇〇	△四、四九〇〇	△八三、七五〇〇

註、輸出額ノ誤差ヲ五トシテ本表ハ修正済ノ計數ヲ示セリ

第八表 最近三ヶ年間に本邦貿易外收支統計（單位百万円）

項目	昭和九年			昭和十年			昭和十一年		
	金額	増減	増減率	金額	増減	増減率	金額	増減	増減率
經常收入	788	820	4.7%	888	68	8.2%			
海運及保險關係	391	432	10.9%	471	39	9.1%			
其他ノ收入	397	388	-2.3%	417	29	7.0%			
經常支出	596	642	7.7%	655	59	9.0%			
海運及保險關係	222	244	10.4%	263	41	15.5%			
其他ノ支拂	374	398	6.4%	392	18	4.5%			
經常部受取超過	192	178	-7.3%	233	41	17.6%			
臨時收入	312	385	23.4%	678	366	54.3%			
本邦投資	94	159	69.2%	193	99	51.3%			
海外投資同收	218	226	3.7%	485	267	55.1%			
臨時支出	495	756	52.7%	947	452	47.7%			
海外放資	398	580	45.7%	652	254	39.3%			
本邦放資同收	97	176	80.4%	295	198	67.1%			
臨時部支拂超過	183	371	204.4%	269	86	31.9%			
總收入	1100	1205	9.1%	1266	166	13.1%			
總支出	1002	1199	19.3%	1602	596	59.5%			
差引出入超過	98	106	8.1%	66	-32	-48.5%			
經常收入內譯	788	820	4.7%	888	68	8.2%			
海運關係收入	252	303	19.8%	334	82	24.1%			
保險關係收入	139	129	-7.2%	137	-2	-1.4%			
專業及勞務益	186	213	14.5%	212	26	12.2%			
利子及配當	23	27	17.4%	34	11	32.0%			
外人本邦消費	89	95	6.7%	108	19	17.9%			
政府海外收入	93	85	-8.6%	35	-58	-164.7%			
其他收入	59	62	5.1%	28	-31	-52.5%			
經常支出內譯	596	642	7.7%	655	59	9.0%			
海運關係支拂	107	126	17.8%	141	34	24.5%			
保險關係支拂	115	118	2.6%	121	6	5.1%			
專業及勞務益	110	118	7.3%	121	11	9.3%			
利子及配當	24	25	4.2%	21	-3	-12.5%			
邦人海外消費	66	69	4.5%	70	4	6.1%			
政府海外支拂	42	33	-21.4%	15	-27	-64.3%			
其他支拂	32	30	-6.3%	15	-17	-53.1%			

第十表 本邦外国公社債現在高 (昭和十二年末現在)

計	社債	地方債		国債	
		法貨	弗貨	法貨	弗貨
九五八三七七八五磅 三四六五四四六〇〇弗 四七九九三三〇〇法	三八一〇三二八磅 一三六三三八〇〇〇弗	一〇〇八〇八三三磅 三二四五三〇〇〇弗 六三九五三〇〇〇法	八〇九四六六三五磅 一七七七三六〇〇弗 四一五九八四五〇〇法	平價 七九〇二八一九九七円	三五六五二九五八九 一六〇九八二〇〇一
九三五六六四二九三円 六九五二六八四六七 一八五七三五八一二	三七二〇〇一三四円 二七五五三四一四八	一〇八一八二二六二円 六五二〇四七三〇 二四七四九八一	計 一三〇七七九七五八八円	計 一九八〇三六七〇四円	備考 大阪市債値ハ (一八二八三三〇磅) 昭和十一年満期ニ シテ期近分ナリ
計 一八一六五六八五七四円	計 三一〇七三三二八二円				

Table with multiple columns and rows, containing numerical data and text, likely a continuation of the financial report. The text is very faint and difficult to read.

行別	買入外爲	利付爲手	計	(賣渡外爲)
正金	五七六九〇〇千円	二〇六三五九千円	七八三二五九千円	二九四九五千円
朝鮮	一八六五〇	七〇七一	二四七二一	一二八
台灣	五〇九一一	二七五九八	七八五〇九	〇
三井	五七〇一九	一七三五〇	七四三六九	二一六九
三菱	三八八四五	一七七一四	五〇五五九	二六三七
住友	一四二八二	二二四四九	三六七三一	七二一八
第一	一四八六二	三二二七一	一六一三三	一四四一
安田	六二〇一	五〇二六	一六二七三	一四四一
三和	三九六〇	七二二二	一六二七三	六七六四
第三	三九六〇	七二二二	一六二七三	六七六四
野村	三二四五	三〇八八三	三三四六一	三三一九
計	七九二八〇〇	三二六七六一	一一一九五六一	五三〇七九

第十二表 本邦主要銀行外爲所有高(昭和十二年上期末現在)

銀行	買入外爲	利付爲手	計	(賣渡外爲)
正金	五七六九〇〇	二〇六三五九	七八三二五九	二九四九五
朝鮮	一八六五〇	七〇七一	二四七二一	一二八
台灣	五〇九一一	二七五九八	七八五〇九	〇
三井	五七〇一九	一七三五〇	七四三六九	二一六九
三菱	三八八四五	一七七一四	五〇五五九	二六三七
住友	一四二八二	二二四四九	三六七三一	七二一八
第一	一四八六二	三二二七一	一六一三三	一四四一
安田	六二〇一	五〇二六	一六二七三	一四四一
三和	三九六〇	七二二二	一六二七三	六七六四
第三	三九六〇	七二二二	一六二七三	六七六四
野村	三二四五	三〇八八三	三三四六一	三三一九
計	七九二八〇〇	三二六七六一	一一一九五六一	五三〇七九

